



郡山城(中心部)測量図(「史跡毛利氏城跡保存管理計画策定報告書」より)

日本百名城に選ばれている郡山城は、全国から多くの人が見学に訪れます。その際、「もう城はないのでしょ?」とよく言われます。一般的に「城」は天守閣などの建築物という認識のようです。しかし、本来の城とは軍勢が籠るための空間全体のことです。建物の有無ではないのです。

城跡

本丸1を中心にして各尾根上に無数の郭が連なる、中国地方最大の戦国山城です。特に中心部の郭の面積はどれも広く、城主やその家族、家臣が居住していたことをうかがえます。一方で堀切、塹壕や土塁は規模の割には少なく、防御面では鉄壁の備えとまでは言えません。また元就の洞春寺や隆元の常栄寺など、菩提寺が城内や山麓に建てられていたことも特徴です。

考察

郡山城は山上にあり自然地形を活かしながらも、城内に家臣団を集住させ、中心部に石垣を築き、瓦葺き建物がありました。つまり戦国時代の軍事に特化した城から、江戸時代の政治・居住の場としての城へと移っていく過渡期のものです。この城は、発掘調査がされていませんが、①元就時代②輝元時代③江戸初期④幕末の要塞化計画期の4つの時期に改変があったことは確かです。これまであまり言及されていませんが、中心部には湾曲した石垣(写真2)や隅部が直角でない不自然な石列があり、これらは④の可能性があるかもしれません。



写真1 破却時に石を牽いた跡(南西側より撮影)



写真2 湾曲した謎の石垣跡(西側より撮影)

編集後記

成人式の取材をしていると、見守っている先輩たちから、「やっぱり若いっていいね。」という声をちらほら聞きました。元氣な新成人を目の当たりにすると、確かにそう感じますが、いつまでも若いままではいけないというのは、誰しもが逃れられない本質。どうせ年齢を重ねるなら、融通無碍(ゆうずうむげ)の境地に達するよう、良い年齢の重ね方をしたいなあ、と思っています。(原田)

花火大会では、初めて花火の撮影に挑戦。打ち上げ当初は風がなかったため煙がはげず、煙ばかりが見えていたのですが、後半は少しずつ煙がはけて美しい花火を見ることができました。出来はよくありませんが花火の写真の撮影もなんとか成功しました。広報の仕事では市内の季節折々のイベントに出かけることが多く、そこで春夏秋冬を感じることはできるのは、この仕事の大きな魅力だと思えました。(田村)

今月の表紙

8月15日(土)に開催された成人式。今年は新成人321名のうち199名が出席しました。おめでとうございます。

人輝くまちの情報誌「広報あきたかた」 Akitakata

NO.140 10 2015.0ct

成人おめでとうございます!

- (今月の主な内容) 2 成人式 3 マイナンバー制度



発行編集 安芸高田市 政策企画課 〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791 Tel.(0826)42-5612 Fax.(0826)42-4376 http://www.akitakata.jp/